

シラバス閲覧

開講学部	水産学部	授業形態	講義
------	------	------	----

授業科目	教職概論	開講期	3期
	Analysis of Teaching Profession	単位数	2
キーワード	教職に関する科目, 中学校・高等学校教員, 教職の意義		
ナンバリング			

担当教員	担当教員連絡先	オフィスアワー
黒江修一	山本智子（受け入れ） yamamoto@fish.kagoshima-u.ac.jp	木曜日：17:40から18:00

授業科目区分	自由科目 水産教員養成プログラム 必修科目 教育職員免許状取得のための必修科目（教職の意義等に関する科目）
--------	---

学修目標	1 教職の意義及び教員の役割を理解し、教師としての心構えを養う。 2 教員の様々な職務内容について理解を深める。 3 教師としての適性や資質・能力について考察し、自分の進路について考えを深める。
授業概要	以下の内容に関して、講義と受講生間で討論を行う。 1 課題をまず自分で考え、次に仲間と話し合いながら妥当かどうか判断する。さらに他グループの発表を聞き、自分の考えを修正して疑問を解決する。 2 教員の職務内容、研修、服務、様々な教育課題を解決するヒントを解説する。 3 学生自身が教職に向いているのかどうか判断ができるよう適切な情報を提供する。

講義計画	
第1回	教職科目履修の動機と目指す教師像（対面）
第2回	学校教育の意義と教職の役割（対面）
第3回	学校教育の現状と課題（対面）
第4回	教員の職務の具体的な内容とその変化（対面）
第5回	教員に求められる資質能力（対面）
第6回	最近の児童・生徒の傾向と教師の役割（対面）
第7回	様々な問題行動と対応の在り方（対面）

第8回	教員の資格と身分保証（対面）
第9回	教員に求められる倫理観と服務義務（対面）
第10回	学校組織の特徴と学校文化（対面）
第11回	教師の専門性と教師の成長（対面）
第12回	学校・家庭・地域社会の連携と教師の役割（対面）
第13回	価値観の多様化と教師の役割（対面）
第14回	様々な教育課題と対応の在り方（対面）
第15回	教職の魅力と教員としての適性（対面）

授業外学修（予習・復習）	〔予習〕 授業テーマについて、インターネットや図書館等を利用してあらかじめ調べておく。（学修時間は約2時間） 〔復習〕 ・講義・演習で生じた疑問点を調べ直す。 ・配布する教育関連資料はその日のうちに熟読し、アンダーラインを引きながら授業内容を整理しておく。（学修時間は約2時間）
教科書・参考書	教科書は使わず、資料を毎回配布する。
注意事項	グループ討議及び演習を行うので遅刻や欠席をしないこと。 原則として対面で行うが、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、授業形態や日程の変更があり得る。
履修要件	教育職員免許の取得を希望していること
関連事項	日本国憲法，教職に関する科目
成績の評価基準 および評価方法	毎時間のレポート（30点），授業への取り組み状況（熱意・発言・応答の内容）（30点），期末試験（40点）で評価する。

アクティブ・ラーニング	グループワーク / ディベート
アクティブ・ラーニング （授業回数）	全 15 回中 15 回で実施

実務経験のある教員 による実践的授業	高校理科の教職経験を持つ講師が、学校現場での経験を元に教職の意義を理解させるための実践的演習の指導を行う。
-------------------------------	---

閉じる

印刷プレビュー

授業進行表